



## 市音楽祭 竹澤恭子コンサート

愛三文化会館 ☎(48)6151

市出身でバイオリンリストの竹澤恭子さんとピアノリストの津田裕也さんが演奏します。市出身で若きチェリストの佐藤桂菜さんとの共演もあります。

- ▶日時 7/18(日) 13:30~15:30
- ▶場所 愛三文化会館
- ▶定員 400人(先着順)
- ▶料金 一般3000円・大学生以下1000円  
(全席指定・就学前児入場不可)

▶申込 5/21(金)から愛三文化会館・文化交流課・アロブ・ミュージーがせ・KURUTOおおぶ・セブンイレブン・チケットぴあ☎0570(02)9999)で販売(Pコード196-807)。

※車いす席希望の方は、愛三文化会館またはチケットぴあで購入してください。託児(3カ月~就学前児・1人1000円)希望の方は、7/15(木)までにネットワーク大府☎(85)7028)へ。



## 防災フェスタ 自衛隊音楽隊演奏会

申込先 危機管理課 ☎(45)6320 〒474-8701住所不要

- ▶日時 7/11(日) 14:30~
- ▶場所 愛三文化会館
- ▶対象 市内在住・在勤・在学の方
- ▶料金 無料(全席指定)
- ▶申込 6/11(金)(消印有効)までに郵便往復はがき(私製を除く)に右の書き方を参考に記入し、申込先へ。  
※往復はがき1枚につき、2人まで申込可。記入に不備があった場合は無効。抽選結果は6月下旬にお知らせします。新型コロナ感染拡大防止のため、中止する場合があります。



【返信おとも】 【返信うら】

63 4748701

住所不要

「防災フェスタ自衛隊音楽隊演奏会」係

抽選結果を印刷して返信します。

【返信おとも】 【返信うら】

63 □□□□□□

宛先を記入

- 郵便番号
- 住所
- 氏名

①氏名・年齢(2人まで)  
②代表者の連絡先  
③代表者の住所  
④市外の方で市内に在勤・在学の場合は、その在勤(住所も記載)・在学先を記載  
⑤車いす席希望の方は、「車いす席希望」と記載



## 約15億4900万円！「おおぶ元気商品券」の経済波及効果

商工労政課 ☎(45)6227

令和2年度に全市民に1万円分の商品券を配布した「おおぶ元気商品券」事業の経済波及効果を検証したところ、生産・サービス誘発額の推計結果は、**約15億4900万円**となりました。

令和2年10月1日~令和3年2月28日の期間に使用された金額は約8億9800万円、参加事業者数は486事業者で、令和元年度に実施した「大府市プレミアム商品券」事業の約1億1200万円、203事業者を大きく上回りました。

※経済波及効果検証については、産業ごとの生産・販売などの取引額を行列形式にした指標である県産業連関表分析ツールを使用しました。

### 「おおぶ元気商品券」事業の実績(令和元年度「大府市プレミアム商品券事業」との比較)

	おおぶ元気商品券	プレミアム商品券	プレミアム商品券との比較
実施期間	令和2年10月1日~令和3年2月28日	令和元年10月1日~令和2年3月1日	-
プレミアム率	自己負担なし (1万円分の商品券を配布)	25% (4000円で5000円分の商品券を購入)	-
配布(販売)率	98.9%	59.4%	↑ +39.5%
商品券使用額(換金額)	8億9854万0000円	1億1253万9500円	↑ +7億8600万0500円
商品券使用率	97.7%	99.2%	↓ -1.5%
参加事業者数	486事業者 飲食券専用使用店：185 買物券専用使用店：301	203事業者	↑ +283事業所

### 参加事業者から寄せられた声

参加事業者に対するアンケート調査結果では、約70%の事業者が「商品券事業が売り上げ増加に貢献した」と回答し、約95%の事業者が「市内の経済活性化のために有効である」と回答しました。

初めてのお客さんや久しぶりのお客さんが来店してくれました。市民の皆さんにお店を知ってもらえる良いきっかけになりました。

おおぶ元気商品券のおかげで客足が増えました。イベントなどが無くなり、売上が減ってしまっていたところだったので、とてもありがたかったです。

### 商品券利用者から寄せられた声

市民が市内で買い物をするという理想の形ができていてすごく良かったと思います。新型コロナの影響で多くの人がさまざまなストレスを抱える中、おおぶ元気商品券によって明るくなったと思います。ますます大府が好きになりました。

市内のお店での買い物がなくなるきっかけになり、とても良い取り組みだったと思います。市ウェブサイトなどに市内の参加事業者が掲載されることで、今まで知らなかったお店を知るきっかけになりました。

### おおぶ元気商品券とは

コロナ禍の中、消費を喚起するとともに市民生活を支援し、市制50周年を市全体で盛り上げるため、市民全員に無料で配布した1人あたり1万円分の商品券(飲食券5000円分・買い物券5000円分)のこと。



聖火が通る一瞬が、一生の思い出に



## 金メダルのまちに希望の炎

4月6日、東京2020オリンピック聖火リレーが開催され、選ばれた10人の走者が市内を駆け抜けました。スタート地点の一屋町二丁目ロータリーで行われたミニセレブレーションには、市出身でバルセロナ五輪金メダリストの吉田秀彦さんがゲストとして登場し、拍手が起こりました。第一走者を務めたのは、吉田秀彦さんをはじめ多くのメダリストを輩出した大石道場創設者の大石康さん。岡村市長から聖火を受け取り、温かい声援の中、出発しました。ゴール地点の共和駅前では、金ちゃん音頭広め隊が最終走者を金ちゃん音頭で迎え入れました。

7 ミニセレブレーションでの記念撮影(左から吉田秀彦さん、大石康さん、岡村市長) 8 チアダンスチーム「SPG CHEER DANCE PROJECT」による元気あふれるパフォーマンス。会場を大いに盛り上げました 9 会場に華を添えた装飾 10 笑顔で走る第6走者のかえるさん 11 共和の金ちゃん音頭広め隊による共和の金ちゃん音頭の披露 12 想いをつなぐトーチキス



3月25日、市制50周年記念事業の集大成として、川池公園(若草町)オープニングセレモニーが開催されました。従来農業用のため池として利用されていた川池は、宅地開発などを機に雨水用の調整池になり、雑草で水面がほとんど見えない状況でした。そこで川池の将来の姿を地元住民と話し合い、親水空間を創出した多目的広場として一新。公園内には、川池を周遊できる1周340mの遊歩道やバスケットゴールを設置しました。式典では舞姫の記念植樹、大府中学校のバスケットボール部員と榊アベックスのバスケットボールチーム「Holly Knights」の選手によるバスケットチャレンジが行われました。

1 桜に囲まれた園内を散歩する家族 2 1周340mの遊歩道は散策コースにうってつけ 3 榊アベックスのバスケットボールチーム「Holly Knights」の選手による3x3 4 中学生によるフリースロー大会。勝ち残った人にはバスケットボールのプレゼントも！ 5 舞姫という珍しい桜の植樹 6 オープンを祝し、テープカット



## サクラとツツジに囲まれた憩いの場



川池が大変身 新たな公園誕生